

## 日本機械学会 第24期関東支部シニア会総会報告書

企 画：日本機械学会 関東支部シニア会

日時/場所：2018年1月19日（金）15:00～18:30/東京理科大学 森戸記念館 第2フォーラム

参加者：32名（招待者2名，支部関係者3名，シニア会員26名，オブザーバー1名）

趣 旨：

シニア年代の会員のもつ経験，技術，知恵の継承に努め社会への啓発・情報発信を通じて本会の発展に寄与することを目的とし関東支部にシニア会を設立，今年，2年目のシニア会総会を開催した。

### 第一部 シニア会活動報告

司会：関東支部シニア会幹事 村上 俊明

15:00～15:10 関東支部支部長挨拶

関東支部支部長 栗山 透

栗山支部長から2年目のシニア会活動を振り返り，1)シニア世代の会員の交流，2)社会貢献，3)世代を超えた交流の3つのカテゴリから支部活動への支援の期待が述べられた。

15:10～15:30 本年度の事業報告と決算報告

シニア会会長 本阿弥 眞治

1)学生員卒研発表会へのコメンテータ派遣(3月，シニア会員24名)，2)ものづくり企業への技術支援の仕組み検討(12月関東経済産業局など訪問)，3)見学会(5月と10月：日本精工，海洋研究開発機構ほか)，4)学生会との交流会(11月茨城地区出前交流会，12月本部交流会)，5)第一回特別講演会(万年時計：久保田裕二常勤理事/ドローン：野波健蔵 CEO)，6)シニア会規則の改定案(運営委員会構成の変更など)，7)今年度の決算報告(暫定版)，7)次年度の運営委員会の体制案などの報告があった。

15:30～15:40 おもしろメカニカルワールド実施報告

シニア会副会長 中山 良一

2017年8月1日，2日の両日に実施した「おもしろメカニカルワールド」(国立科学博物館で「ロボットを作ろう」をテーマに小学生77名，シニア会指導メンバー8名が参加)の事業の詳細が報告された(参加者の約70%が小学3年生以下，会場のスペース，照明は昨年から改善)。

15:40～15:50 2018年度の事業計画案

シニア会幹事 村上 俊明

2018年度の事業計画案(基本は2017年度実績を踏襲し7月に新企画の追加を検討)と3月の学生員卒研発表会コメンテータの追加募集，アンケートをお願いした。また，本年度の事業報告，決算報告(暫定版)，シニア会規則の改定案，2018年度のシニア会体制案と事業計画案について本総会で了承を得た。

### 第二部 特別講演

司会：関東支部シニア会会長 本阿弥 眞治

16:00～16:50 よこはま高度実装技術コンソーシアム(YJC) ―シニア生き生き活動実践事例―

コンソーシアム理事長，横浜国立大学名誉教授 白鳥 正樹

産学公の高度実装技術に関する知恵を集結し，ニーズとシーズの「交流の場」，技術問題の解決や企業間の共同研究開発の場の提供を目的として2006年に誕生したYJCの活動について講演された。運営は横浜国立大学の研究者と企業OBが中心となりNPO法人YUVECが担当，交流活動，研究会活動(KAMOMEプロジェクト)，実装技術者育成活動，教育活動(NEDO委託事業)などを推進している。

### 第三部 情報交換会・懇親会(17:00～18:30)

司会 関東支部シニア会 副会長 中山 良一

シニア会総会参加者の方々に出席頂き情報交換会・懇親会を開催した。今後のシニア会活動に対する貴重なご意見も頂き，長島 昭 JSME 元会長(慶応義塾大学名誉教授)の締めで会を終了した。



栗山 支部長



本阿弥 会長



中山 副会長



白鳥 理事長

文責 幹事 村上俊明